

【 第41回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和7年1月8日（水）14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長

小川 久雄

理事（研究・グローバル戦略担当）

大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当）

宮尾 千加子

内 容：

1. 熊本大学の新たな共創 ～自治体（常駐派遣）職員とともに～（資料1）
熊本創生推進機構 教授 金岡 省吾
2. 熊本大学病院肥満症治療センター創設について（資料2）
大学院生命科学研究部 教授 窪田 直人
3. 学生ボランティアサークルD-SEVEN（ディーセブン）の取り組みについて（資料3）
法学部2年生 富 若奈
4. その他

230308 学長記者懇談会以降の変化

熊本大学の新たな共創 ～自治体^{常駐派遣}職員とともに～

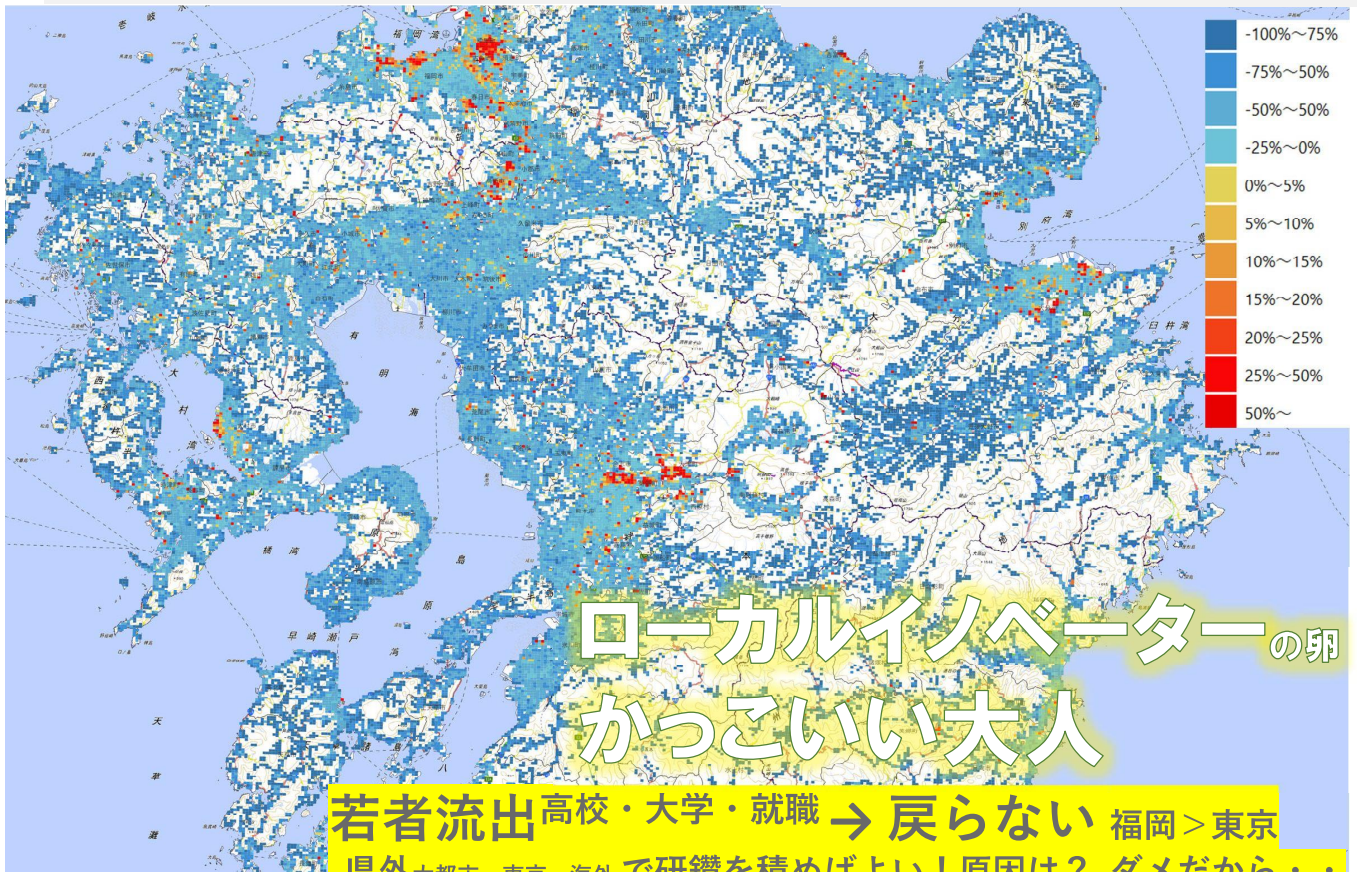
大学、自治体が本務で汗かく連携、WIN2の関係構築

- 熊本大学 客員准教授／鍋屋安則 上席政策研究員（田辺市）
- 熊本大学 政策研究員／森内未来（天草市）
- 熊本大学 政策研究員／岩田憲一郎（八代市）
- 熊本大学 教授・副学長／金岡 省吾 評議員，副機構長，部門長

リーサス→尾山氏作成による

将来人口メッシュ増減

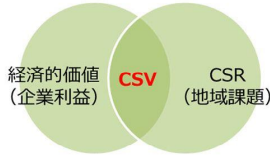
2010→2050の人口変化
(500mメッシュでの変化)



熊本を拠点に全国に広がる「未来創造塾」 ～地域課題をビジネスで解決するローカルイノベーターの創出へ～



人口減少が深刻化し、様々な地域課題が生じる中、熊本大学熊本創生推進機構では、**地域課題解決とビジネスを両立するCSV（共通価値の創造）**の実現とローカルイノベーターの創出を目指し、地域若手経営者らを対象とした「未来創造塾」を展開、これまで308名の修了生を輩出、約**70%の事業実行率**を実現してきました。



未来創造塾合同講義2023の様子

「産学官金」が一体となったサポート体制

熊本大学熊本創生推進機構と自治体等（熊本県八代市、天草市、玉名市、阿蘇地域、菊池市、山鹿市、和歌山県田辺市、富山県南砺市、小松商工会議所）が主催、日本政策金融公庫や地域金融機関、商工関係団体等が協力・後援する「**産学官金**」が一体となった体制で塾生をサポートしています。



修了生から数多くのアワード受賞、注目の高まりへ

修了生の中から20を超えるアワード受賞事例が生まれるなど、**新たな内発型地方創生**として、全国から注目が集まっています。

<受賞例>

プレミア和歌山特別賞【グランプリ】（特産品コンクール・梅とうなぎ）、林野庁「間伐・間伐材利用コンクール」特別賞（林業ベンチャー）、農林水産省「鳥獣対策優良活動表彰」農林水産大臣賞（農業・狩猟）、日本農業賞「食の架け橋部門」特別賞（農業・狩猟）、グッドデザイン賞2023（農業・狩猟）、全国山林苗畑品評会全苗連会長賞（林業ベンチャー）、グッドデザイン賞2021,2022（林業ベンチャー）、ミシュラン、ピブルマン、グリーンスター（フレンチ）ほか



未来創造塾が全国9か所+3

・地域課題解決とビジネスとの両立（CSV）を目指した地域再生塾
・全国9か所**308名**の修了生を輩出



YEGと連携し未来創造塾が全国へ？

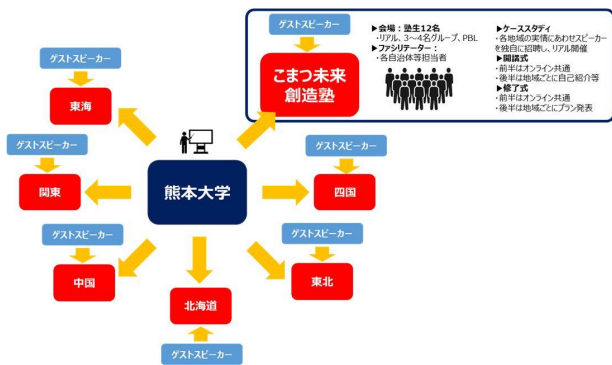


大会長
小松YEG
……氏

分科会 地域未来創造塾の開催



第6分科会
たなな未来創造塾～ローカルイノベーター～
9月24日(土)15:30～17:00
田辺商工会議所会議室・オンライン配信
現地：30名 オンライン：100名



日本全国に**416**のYEG単会、
3万2千人以上の
YEGメンバーが活動しています



先行する近畿・九州以外の
全国7ブロックでの勉強会を開催中



ことらぼ@くまもと2024

- ・日本能率協会マネジメントセンター（JMAM）と熊本大学の主催
- ・2024年6～10月、約4か月でのセッション（現地2回、オンライン3回の計5回程度、別途週一回1時間程度でオンライン協議あり）
- ・やつしろ未来創造塾・あまくさ未来創造スクール・あそ未来創造塾から修了生各1名と都市圏及び熊本県内企業10～15名程度でのコラボ
- ・3チームに分かれ、9月の成果発表会においてビジネスプランを発表する
- ・受講料**440,000円**（税込/人）

2024参加企業（13名）



プログラム概要

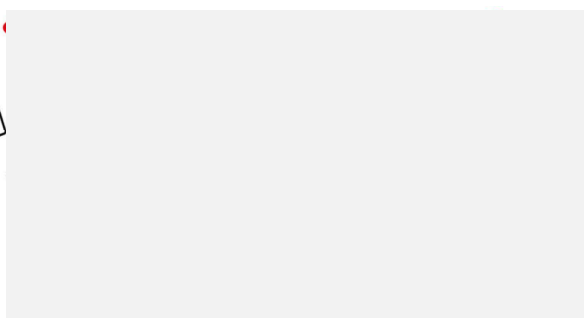
Session0 <越境前>	Session 1	Session2	Session3	Session4	Session5	Session6 <越境後>
オンライン 15:00～18:00	オンライン 10:00～17:00	リアル 2泊3日	オンライン 10:00～17:00	リアル 2泊3日	オンライン 10:00～17:00	オンライン 15:00～18:00
・チェックイン ・越境学習の理解	・自己理解 ・地域/テーマを知る	・地域視察・体験 ・チーム活動開始	・中間報告とFB① ・活動の振り返り	・プロタイピング ・中間報告とFB② ・活動の振り返り	・活動報告とFB ・越境の振り返り ・チェックアウト	・自組織での実践と 還流報告

▼2024参加地域企業（予定）



合同会社如月 片山渉（やつしろ来創造塾3期生）
 (株)天草海鮮蔵 松浦亜季子（あまくさ未来創造SC1期生）
 (有)工藤石油 工藤知保（あそ来創造塾1期生）

▼熊本ことらぼに関心を示している企業



などから10～15名程度

高校連携（天草・八代・玉名・城北）実績

天草高校 全学年

- ・探究学習 R5/2年150名 R6/ ●年150名
- ・4回連続講座
- ・R5/ HYBRID開催 R6/リアル・塾生●名



【農産物を作り未来を創る】桑原 健太 様

八代高校 全学年

- ・探究学習 R5/ 1年240名 R6/ ●年240名
- ・3回連続講座
- ・やつしろ塾生6名が講義 ・全員でのPBL



玉名高校 全学年

- ・全学年課外活動 ・希望者のみ15名
- ・4回連続講座＋インターン
- ・たまな塾生1名が講義
- ・たまな塾生2名がインターン受入



未来創造塾

総計1800人弱→総探/文理融合型 探究入試

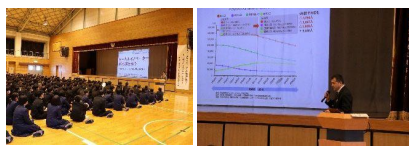
大津高校

- ・総合的な探究 1年生・300名
- ・単発講義（6月12日）
- ・体育館300人のPBL



八代工業高校

- ・全校講演 2/8(月)14:00～16:00
- ・金岡副学長、八代市担当者によるやつしろ未来創造塾についての講義



鹿本高校 全学年

- ・総合的な探究 ●年生…名 ●年生…名
- ・4回連続講座 体育館300人のPBL

山口県教育委員会

- ・県教育委員会主催のフロンティア育成コース
- ・3回連続講座の第2回目を担当
- ・11/11(土)13:00～15:00
- ・県内の進学校25名（1年9名、2年16名）



城北高校 全学年

- ・集中講座 1/10(水)12:55～15:45
- ・全校生徒681名（1年260、2年205、3年216）
- ・やまが塾生8名が協力



八代清流高校

- ・総合的な探究 7/28
- ・1～2年生
- ・八代市担当者、塾生8名による活動報告とPBL



小国高校（R4年度）

機構長
(研究・グローバル戦略担当 理事・副学長)

大谷 順 (オオタニ ジュン)

副機構長
(地方創生・地域連携担当 副学長)

金岡 省吾 (カナオカ ショウゴ)

地域連携部門 自治体・常勤

民間等共同研究員 自治体・非常勤・増加

准教授 尾山 真 (オヤマ マコト)

助教 伊藤 大志 (イトウ ヒロシ)

併任准教授 田中 尚人 (タナカ ナオト)

客員准教授 朝屋 安則

政策研究員 (八代市からの出向) 岩田 憲一郎

政策研究員 (天草市からの出向) 森内 未来

3名→R7/15名予定

八代市 鶴山 朋子

八代市 (高校連携) 内田 圭亮

阿蘇広域地域 吉岡 章宏

天草市 井坂 雄兵

天草市 (高校連携) 嶋崎 健介

玉名市 平野 利和

菊池市 境 一磨

山鹿市 阿蘇品 泰伸

和歌山県田辺市 石野 善之

富山県南砺市 野原 加奈子

石川県小松地域 宮本 健一

R5/6名→R6/11名→R7/12~13名予定

未来創造塾のレベルアップへ



PDCA会議

日時：05/17(金)14:30~17:30

会場：熊本大学

- ・塾運営ノウハウの共有
- ・KPIの徹底 (実行率50%・出席率80%)
- ・自治体、公庫、保証協会、肥後銀行、中小機構
- ・出席者35名

担当職員ゼミ, 新担当ゼミ, 金融機関連携ゼミ
→塾運営のナレッジ移転, 大学教育への協力, 高校教育への可能性→営業



STARTUP勉強会

オンライン開催

〈Day1〉06/06(木)13:00~16:30

〈Day2〉06/10(月)13:30~16:30

〈Day3〉06/17(月)13:30~16:30

〈Day4〉07/03(水)13:30~16:30

- ・YEG、他自治体からも参加
- ・出席者約40名

5. 越境学習事業（熊本版ことらぼ）について セッション2

■都市圏や熊本県内中核企業と未来創造塾生との越境型学習事業の展開 2024/06/26~28 @八代, 天草, 阿蘇



5. 高校連携（天草・八代・玉名・城北・鹿本）について

・高校での取組状況

創造塾・つしろ未来創造塾・なんと未来創造塾・あそ未来創造塾・あまくさ未来創造スクール・たまな未来創造塾・きくち未来創造



ローカルインベーターが地域を救う（金岡先生）



たまなで活躍するカッコいい大人・たまな未来創造塾（平野係長）



地方創生・地域課題解決に向けた地域との3つの関わり方（鍋屋客員准教授）



Problem Based Learning（グループワーク）



Problem Based Learning（尾山先生）

地域連携による高校教育での協働

北陵高校, 小国高校, 八代高校, 菊池高校, 天草高校, 玉名高校, 八代星稜高校, 八代東→ **高校版未来塾**



首長, 市役所執行部との共創



進学校のキャリア教育での連携相談



高校執行部との共創



専門・職業・実業高校での連携相談



熊本大学でも学生は興味津々

市長自ら講義の実施

熊大・黒髪→連携自治体にサテライト拠点を！
自治体提案/自治体をフィールドにした演習→費用・伴走を自治体支援



地域トップ自らサテライト提案
→自ら講義



地域会社も伴走での講義

令和6年7月時点情報

関係者外秘

熊本大学
Kumamoto University

設置
構想中

2026年4月

共創学環 (仮称)
School of Social Innovation

創設

本学は、地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する教育研究拠点大学を目指し、さらなる教育改革に取り組んでいるところです。
2026年4月、新たな学部等連係教育課程として「共創学環」の設置を構想中です。

地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材を養成

地域イノベーションコース (仮称) グローバルイノベーションコース (仮称)

入学定員：80名
学位：学士(学術)

設置計画は現在時点での構想であり、内容に変更があり得ます。名称等は全て仮称です。

共創学環での学び・特色

関係者外秘

地域イノベーションコース (仮称)

修得する能力・能力
経済学、応用数学の基礎について実習体験を通して学び、人と地域連携に繋がることで共生共創社会を創成していくための基礎を習得するコーディネート力及びその問題解決能力を身に付けます。

卒業後の進路 (例)
製造・流通・小売・サービス業、マーケティング企業、コンサルティング、金融機関、情報通信業 (IT企業)、社会起業家、地方・国家公務員、大学職員、NPO など

グローバルイノベーションコース (仮称)

修得する能力・能力
海外での活動を通じて、異なる価値観の人々や多様な文化・専門分野の人々と連携して課題を進行するために必要な知識を学び、地域間の課題をグローバルに解決する能力を身に付けます。

卒業後の進路 (例)
グローバル企業、海外経済協力機関、国際機関、金融機関、情報通信業 (IT企業)、社会起業家、地方・国家公務員、NPO、NGO など

実践的課題解決人材

「実践的な課題解決×文理融合」のカリキュラムを構築し、フィールドワークを中心に学際的な思考力や実践的な課題解決能力を身に付け、社会イノベーションを創出する人材を育成します。

産学官金連携実践教育

産学官金連携によって、実社会における課題解決に秀でた実践者とステークホルダーとの共同体制を構築し、課題解決を実践する現場をダイレクトに学ぶことができる授業を展開します。

グローバル実践教育

アジア圏を中心とした世界各地のネイティブ教員を配置し、世界各地の大学や機関と連携したグローバルな課題解決に取り組めます。また、英語によるディベート・プレゼンテーション能力の向上を目指します。

探求入試の導入

課題の検討や課題の将来的な解決を主体的に探究し、身に付けようとする意欲が高い人を求めるため、総合型選抜において、探究的な学びの経験を重視した探求入試を導入します。

設置計画は現在時点での構想であり、内容に変更があり得ます。名称等は全て仮称です。

熊本大学
Kumamoto University
新学環設置準備室
TEL: 096-342-2382, 2309
E-mail: kyoso-gakkan@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学
Kumamoto University

リカレント、共創学環、中・高校で育成する人物像 = エコシステム

産学官金連携による文理融合を通じて、地域・社会課題解決に向けて自ら考えて行動できる人材

地域イノベーション人材 (プレイヤー)
▶ 地域企業への就職、起業

地域コーディネーター人材 (サポーター)
▶ 地方公務員、金融機関…

越境・CSV人材 (関係人口)
▶ 官僚、一部上場企業…

Goal/2030年を見据えた革新的な目標 熊本大学を舞台に地方創生人口減少時代の地域づくりを先導する革命を起こす共創拠点を形成

2つの地域力として、地域課題克服する地域力と、地域への誇りと愛着を原動力に地域の魅力を高め人々を惹き、地方への新たな人の流れを創出拡大する地域力を発揮する共創拠点を、熊本大学を舞台に人口減少時代の新しい地域づくりを先導し、地方創生/人口減少克服に革命を起す。

Strategy/基本戦略 熊本大学を核に持続可能な地域未来と地方創生人材を共創する グローカル・プロジェクトアカデミー

Tactics/戦術プロジェクト 地域人材育成を起点とした新たな実装リカレントで熊本から日本、世界を変える

革新的な目標、基本戦略の実現に向け、**未来創造塾**を起点とし、「多様な事業を連携させ、各ステークホルダーが一体となって取り組み、社会実装に向け、段階的に戦術/プロジェクトを実施する。

⑦ 社会人研究員制度を活用した地方創生プログラム

- ▶ 熊本県内中核企業×都市圏企業による兼業・副業、事業承継・雇用確保
参画
- ▶ 海外企業との連携

⑥ 採用イノベーションスクール

- ▶ 大きく変化している企業の採用活動を研究し、採用革新に向けて学び、考え、実践することで、若者の地域定着と人手不足という企業課題の解決に取り組む
参画：経済界、都市圏就職系企業、金融 など

① 未来創造塾

- ▶ 連携自治体
八代、阿蘇、天草、玉名、菊池、山鹿、和歌山、田辺市、石川県小松
- ・未来創造塾（14回講義・input+PBL 3時間）
- ・市長との戦略会議
- ・自治体担当者等STARTUP勉強会
- ・自治体職員及び金融機関等PDCA会議
- ・金融連携会議（金融機関のノウハウ共有）
- ・合同講義
- 参画ステークホルダー
自治体・日本政策金融公庫・熊本県信用保証協会・肥後銀行・熊本経済同友会・各地方銀行・各地域金融機関・商工団体など

⑤ 自治体職員URAなど自治体と一体となった共創システムの構築

- ▶ 民間等共同研究員（非常勤）の受入
未来創造塾：田辺、八代、玉名、阿蘇DC、玉名、菊池、山鹿、小松
高校連携：天草高校、八代高校
- ▶ 政策研究員（常勤）の受入 田辺市、天草市、八代市
- ▶ 政策研究員の受入、拡充
、etc
- ▶ 加ASA* イントメントを活用した自治体等職員URAの導入
参画：自治体・国・金融機関など

② 越境学習事業

- ▶ 熊本版ことらぼ
未来創造塾修了生×熊本県内中核企業×都市圏企業による越境学習事業
- ▶ プレイベント@八代地区
- ▶ イベント@八代・天草・阿蘇
参画：JMAM・肥後銀行・各自治体など
- ▶ NEXT STAGE/海外企業との連携/台湾etc

③ 教育機能の強化

- ▶ 未来創造塾自治体職員及び地域事業者による教職講義
- 地方創生実践論 I R5~
- 地方創生実践論 II R6準備 R7~
- キャリア科目10・フィールドワークR7準備 R8~
- ▶ 研究会@R8~大学院での講義
- ▶ 共創学環 R5~準備 R8~
- ▶ インターンシップ・就職等 R6準備 R8~
- 参画ステークホルダー
自治体・日本政策金融公庫・熊本県信用保証協会・肥後銀行・熊本経済同友会・各地区修了生など
越境型企業..

④ 高大連携事業+小中連携

- ▶ 自治体及び未来創造塾修了生と連携した高校の探究学習への参画
- ▶ 熊本県内探究学習への波及
- ▶ 全国の高校へ探究学習のノウハウ移転
参画ステークホルダー
自治体・熊本県高校教育課
天草高校、八代高校、玉名高校、城北高校、鹿本高校、八代工業高校ほか

KGI：地域力①地域課題解決→地域力②地域愛着を高めて、地方への新たな人の流れを顕在化 KPI:各領域で設定

熊本大学病院 肥満症治療センター創設について

熊本大学大学院 生命科学研究部 代謝内科学講座
熊本大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
窪田 直人



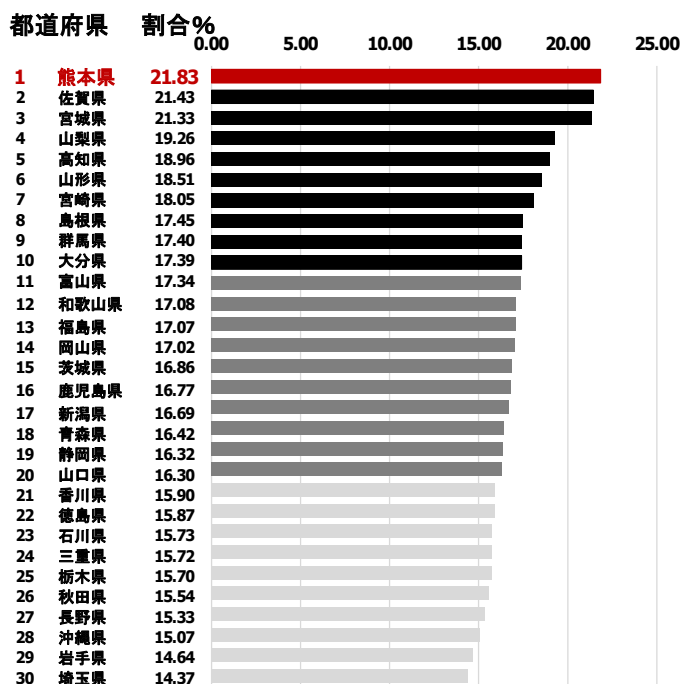
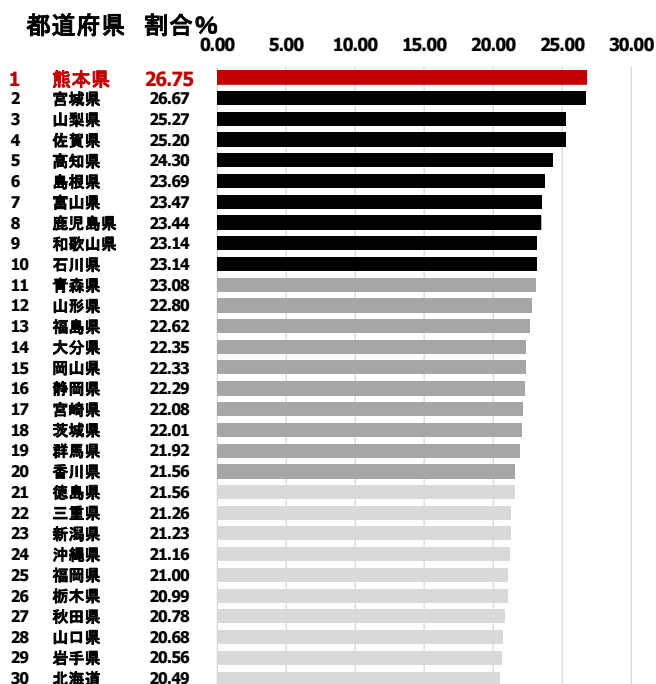
2025年1月8日(水) 於:熊本大学区本部棟1階 大会議室

熊本県は糖尿病/糖尿病予備群が多い

男性

HbA1c \geq 6.0%の割合 40歳~74歳

女性



<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html#data>
特定健診(厚生労働省)第9回NDBより解析

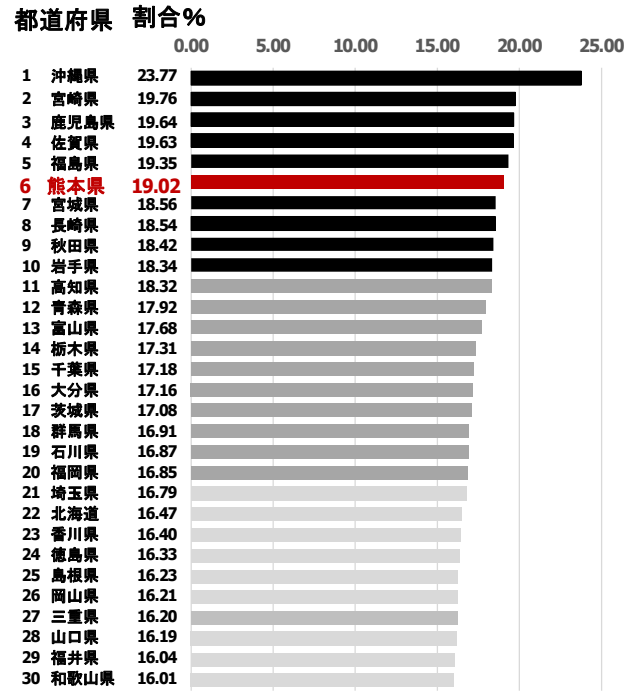
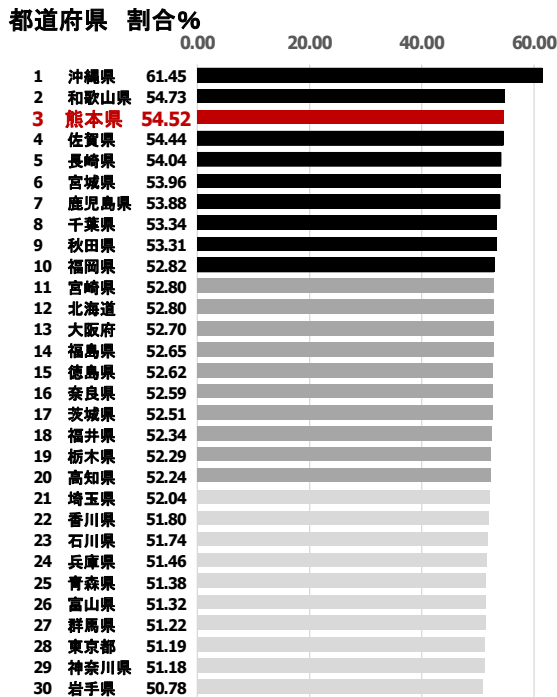
熊本県はメタボリック症候群(内臓脂肪蓄積)が多い

男性

腹囲 \geq 85cm(男性)
腹囲 \geq 90cm(女性)

40歳~74歳

女性



<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html#data>
特定健診(厚生労働省)第9回NDBより解析

肥満症に対する内科的および外科的治療法

体重減少率



Hope DCD, et al. Front Endocrinol (Lausanne) 2018; 9: 442.改変

新規肥満症治療薬セマグルチド(商品名:ウゴービ®) チルゼパチド(商品名:ゼップバウンド®)の適応症

肥満症 ただし、高血圧、脂質異常症又は 2型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合に限る。

- ・ BMIが27 kg/m² 以上であり、2 つ以上の肥満に関連する健康障害*を有する。
- ・ BMIが35 kg/m² 以上
- * 肥満症の診断に必要な11項目の健康障害(日本肥満学会)

* 肥満症の診断基準に必須な健康障害

- | | |
|-------------------------|--|
| 1) 耐糖能障害(2型糖尿病・耐糖能異常など) | 7) 非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD) |
| 2) 脂質異常症 | 8) 月経異常・不妊 |
| 3) 高血圧 | 9) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)・肥満低換気症候群 |
| 4) 高尿酸血症・痛風 | 10) 運動器疾患・変形性関節症(膝・股関節)・変形性脊椎症、手指の変形性関節症 |
| 5) 冠動脈疾患・心筋梗塞・狭心症 | 11) 肥満関連腎臓病 |
| 6) 脳梗塞:脳血栓症・一過性脳虚血発作 | |

肥満症に対する減量・代謝改善手術の適応

日本糖尿病学会・日本肥満学会・日本肥満症治療学会
減量・代謝改善手術に関するコンセンサスステートメント

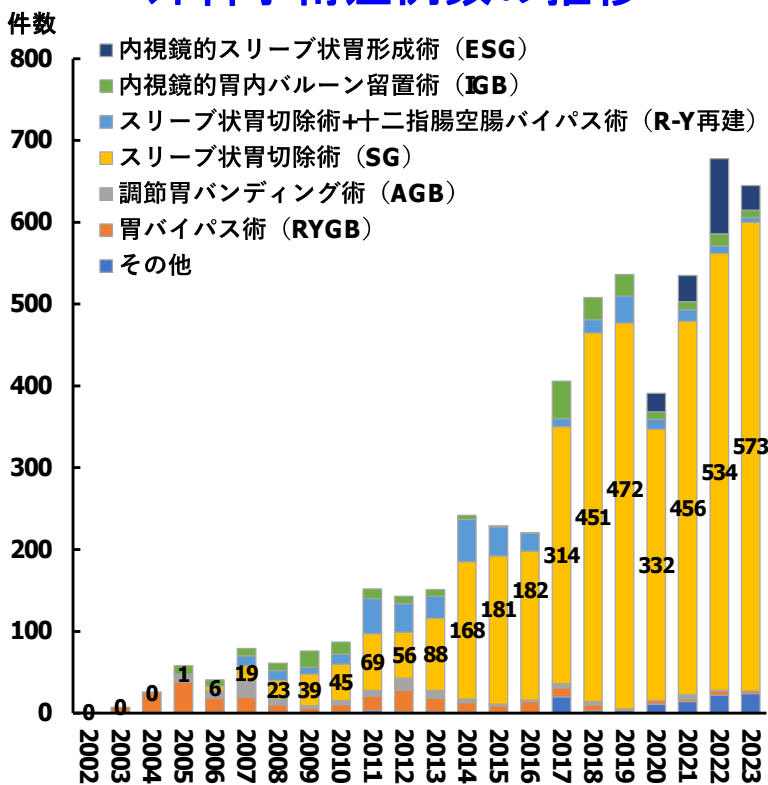
- ・ 受診時BMI35kg/m²以上の2型糖尿病で、糖尿病専門医や肥満症専門医による6カ月以上の治療でもBMI35kg/m²以上が継続する場合には、血糖コントロールの如何に関わらず減量・代謝改善手術が治療選択肢として推奨される。(推奨度レベル: recommendation)
- ・ 受診時BMI32kg/m²以上の2型糖尿病では、糖尿病専門医や肥満症専門医による治療で、6カ月以内に5%以上の体重減少が得られないか得られても血糖コントロールが不良*な場合には、減量・代謝改善手術を治療選択肢として検討すべきである。

* HbA1c 8.0%以上(推奨度レベル: consideration)

2024年度診療報酬改定

- 腹鏡下スリーブ状胃切除術の保険適応
- ア 6カ月以上の内科的治療によっても十分な効果が得られないBMIが35以上の肥満症の患者であって、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、閉塞性睡眠時無呼吸症候群または非アルコール性脂肪肝炎を含めた非アルコール性脂肪性肝疾患のうち1つ以上を合併しているもの。
- イ 6カ月以上の内科的治療によっても十分な効果が得られないBMIが32~34.9の肥満症の患者あって、ヘモグロビンA1c(HbA1c)が8.0%以上(NGSP値)の糖尿病、高血圧症、脂質異常症、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、非アルコール性脂肪肝炎を含めた非アルコール性脂肪性肝疾患のうち2つ以上を合併しているもの。

日本の肥満症に対する外科手術症例数の推移



九州内の肥満症外科手術施行施設



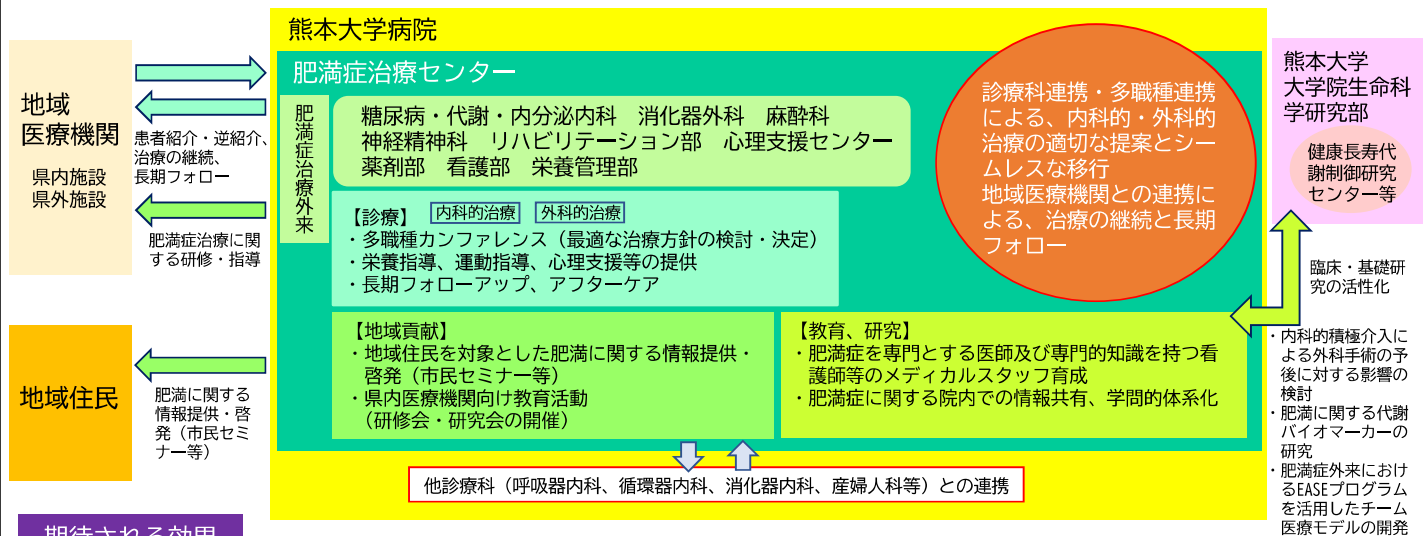
2024年12月現在、肥満症に対する外科手術を行う施設は北部九州に集中している。九州中南部の肥満症患者の積極的治療への医療アクセス向上が期待される。

熊本大学病院肥満症治療センター

肥満症に対して内科的及び外科的治療を含む適切で包括的な医療サービスを提供し、患者に継続的なサポートと教育を行うことで、健康の増進と生活の質の向上を目指す

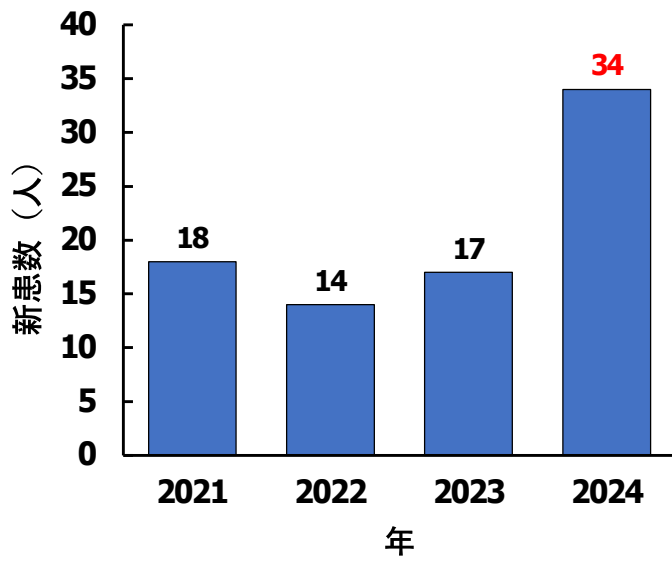
熊本県における肥満の現状と肥満症治療の問題点

- ・熊本県の肥満者は、男性31.5%・女性24.2%である。
- ・現在、熊本県で肥満外科手術を行える施設はない。
- ・栄養、運動、認知行動、薬物治療を含めた統合的な多職種によるチーム医療が必要。

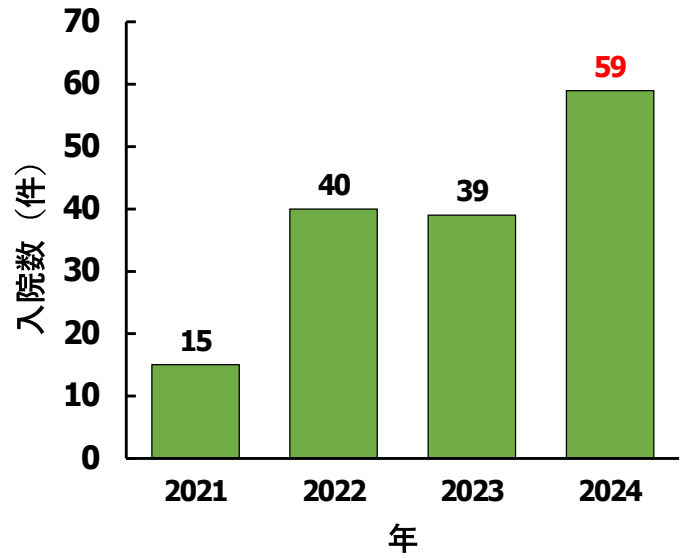


熊本大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 肥満症診療の実績

肥満症の外来新患数



肥満症の入院数



2024年2月、セマグルチド(商品名:ウゴービ®)が肥満症治療薬として保険適用
2024年6月、肥満症外来開設
2024年11月13日、肥満症治療センター創設

D - SEVEN

目次

D-SEVENとは？

活動の紹介

D-SEVENの魅力



▷ D-SEVENとは？

活動の紹介

D-SEVENの魅力



D-SEVENとは？

D-SEVENとは

地域の人と共に地域の課題を解決していく
ボランティアサークルです。



D-SEVEN発足



菊池市佐野地区
農業支援ボランティア開始

D-SEVENとは？

活動の紹介

D-SEVENの魅力



D-SEVENとは？

▷ 活動の紹介

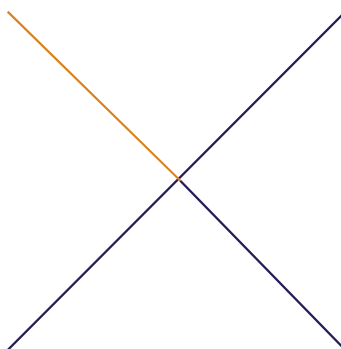
D-SEVENの魅力



活動の紹介



活動の紹介



佐野地区

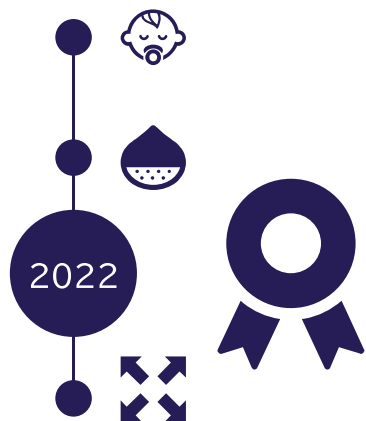
佐野地区特化型地域おこし

佐野地区



米づくりのお手伝い
栗の収穫
木の剪定後の枝拾い
など





「つなぐ棚田遺産」 感謝状の授与



活動の紹介

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

未来へつなぐ部門

人と人をつなぐ部門

クリエイティブ部門



D-SEVEN (ディーセブン)

取組年数
4年

農家と協力した耕作放棄地の再生、保全活動のボランティア

関係棚田情報

佐野棚田

所在地

菊池市

認定

- ・指定棚田地域
水源村
- ・つなぐ棚田遺産
佐野棚田
- ・日本の棚田百選
なし



種もみを蒔いた苗床を選び並べる作業の様子

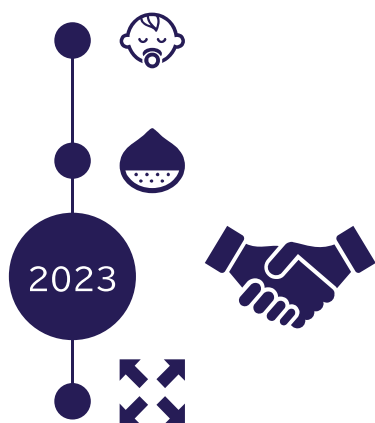


育った苗床を田んぼまで運び、配る作業の様子



小学生と果拾いを行っている様子

活動の紹介



「クラウドファンディング」 目標達成

活動の紹介

菊池市佐野から田舎の挑戦
熊大生と地域の農家で耕作放棄地を盛り上げてみた！！



集まっている金額
807,000円 現在 100%

目標金額 800,000円

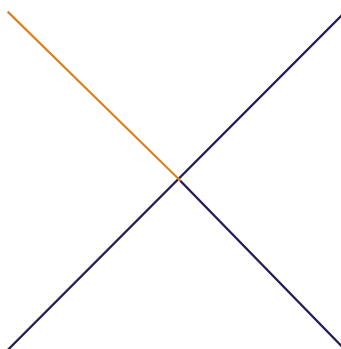
募集期間 2022年8月2日
～2023年1月31日

参加人数 134人

オーナー 佐野ファン倶楽部

[👍 いいね!](#) [🔗 シェアする](#) [✖️ ポスト](#)

活動の紹介



Shirakawa Banks

白川を軸とした「まち」づくり事業

Shirakawa Banks

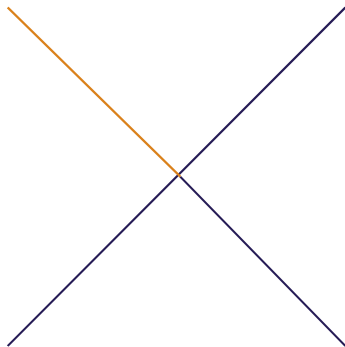


白川夜市運営のお手伝い 河川敷の草払い

など



活動の紹介



黒髪自主防災クラブ

「もしも」に備える地域の防災活動

活動の紹介

黒髪自主防災クラブ



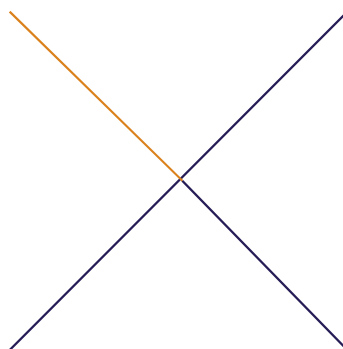
活動の紹介

リサイクル品の回収

など



活動の紹介



あらいぐま人吉

水害で被災した写真の洗浄活動

活動の紹介

あらいぐま人吉



活動の紹介

写真の洗浄

など



D-SEVENとは？

活動の紹介

D-SEVENの魅力



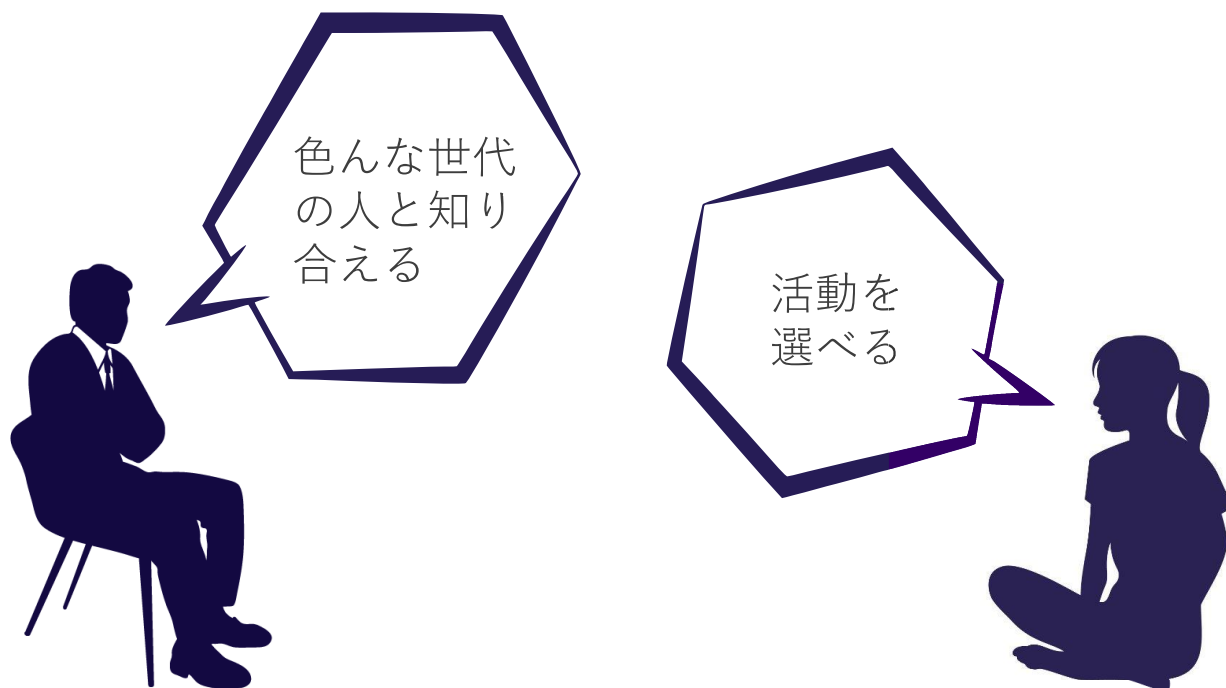
D-SEVENとは？

活動の紹介

▷ D-SEVENの魅力



D-SEVENの魅力



D-SEVENの魅力

紫熊祭 栗高菜ごはん

紫熊祭

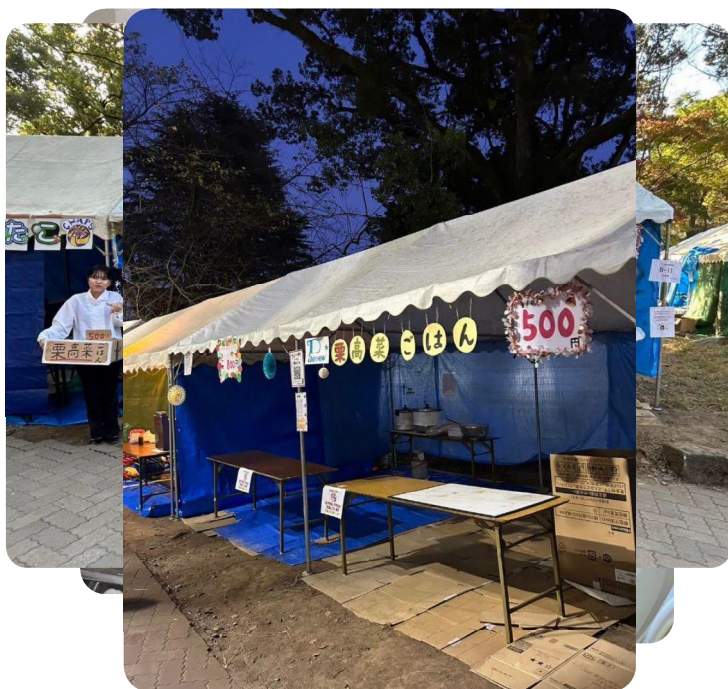
米と栗は菊池市佐野のものを使用
オーガニック栽培の新米「にこまる」と
栗、そして熊本名物の高菜を混ぜ込み
ました！

佐野の自家製の漬物を添えて提供します

D-SEVEN



D-SEVENの魅力



D-SEVENとは

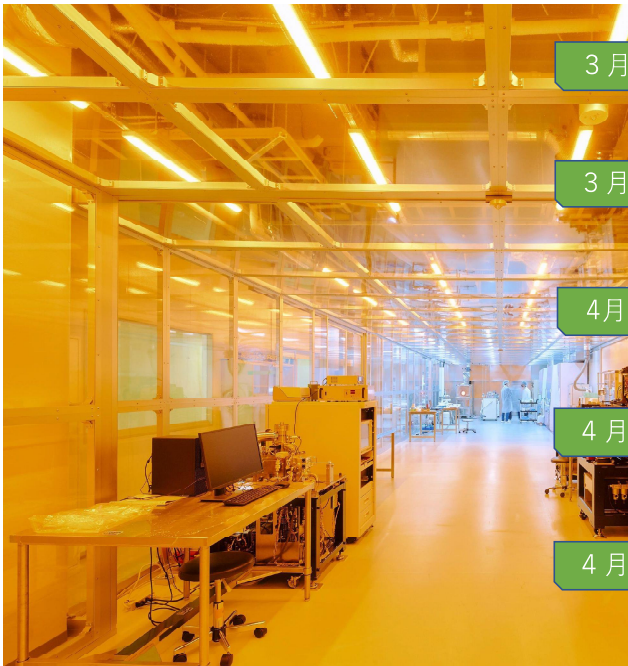
地域の人と共に地域の課題を解決していく
ボランティアサークルです。

令和7年1月8日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告 1

熊本大学 2024 10大ニュース

2025.1.8



3月

TSMCと産学連携協定を締結

3月

東北大学と包括連携協定を締結

4月

情報融合学環の設置

4月

半導体デバイス工学課程の設置

4月

熊本大学メールマガジンの配信開始及び
熊本大学Webマガジン「Kumadai Now」HPの開設

熊本大学 2024 10大ニュース

2025.1.8



5月

自然科学教育部半導体・情報数理専攻の
設置構想の公表(令和7年4月)

7月

教育学部・佐賀大学との共同教員養成課程
設置構想の公表(令和8年4月)

9月

新学部組織「共創学環」の
設置構想の公表(令和8年4月)

9月

令和7年度熊本大学教育学部
附属小学校外国人児童募集

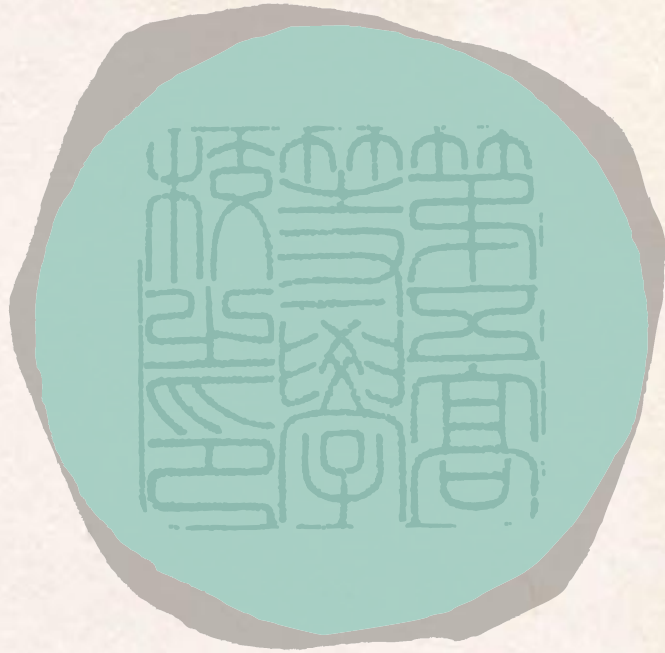
10月

附属小学校第1学年の
外国人児童転編入学の実施

令和7年1月8日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告2

五高と漱石



Soseki at the Fifth High School



主催 熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

会場 熊本大学五高記念館・2階企画展示室

10時～16時（入館は15時30分まで）

会期 令和6年12月6日～令和7年3月17日

写真展 五高ー熊大今昔散歩

令和7年1月15日(水)～3月25日(火)
五高記念館2階展示室にて開催

時間／10時～16時(入館は15時半まで)

休館日／毎週火曜日 1月18～19日 2月23日～26日 3月11日～12日

主催／熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

入場
無料



撮影 星野雅俊

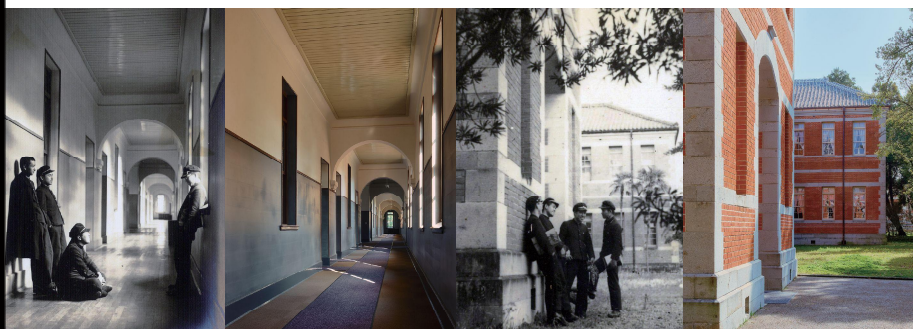
photo exhibition
by
GOKOKINENKAN

問合せ 熊本大学五高記念館

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1

TEL 096-342-2050 FAX 096-342-2051

<http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/>



令和7年1月8日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告 4



Katsuhiko HIBINO

熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム

アートは人の心をつなぐ働きかける

共生社会をつくる



アート コミュニケーション



日出野実穂氏
東京藝術大学学長
熊本布現代美術館長

田中一平氏
東京藝術大学特任講師
熊本大学教授

松永拓己氏
熊本大学教授



2025
1/25 土

14:00-15:30 (13:30 開場)

会場 熊本大学工学部百周年記念館
(黒髪南地区)

参加
無料

定員
250名

要申込・先着順 →



登録サイト

トークショー



□主催 熊本大学キャンパスミュージアム推進機構 □後援 熊本市、熊本市現代美術館
□問い合わせ先 熊本大学キャンパスミュージアム推進機構



熊本

東京

熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム

Art × Communication 2025 1/25 土

アートは人のこころへ働きかける

現代の日常生活に、新鮮な驚きや感動はありますか。

アートは物事の視点を変えさせ、そして新たな価値感に気づかされます。

何か素敵な作品を制作し、展示し、鑑賞し、共感するというアート活動を再認識して、更なる視点でいろいろな問題にせまり、固定観念を越えたことを感じてみませんか。

誰もがアーティストになり、感動しながら関わり、前進できる時代が拓かれたらと思います。そこではきっと物も事も面白い作品となることでしょう。

熊本大学キャンパスミュージアムでは、東京藝大のこれまでの取組みと、共に共創社会へ向けたこれからのアートの可能性について展望します。

Schedule

13:30 ● 開場

14:00 ● 開会

● 開会挨拶 小川久雄(熊本大学長)

14:10 ● トークショー

『共生社会をつくるアートコミュニケーション』

講師 日比野克彦氏、田中一平氏

コーディネーター 松永拓己

15:30 ● 閉会

参加無料

定員 250名

登録申込み 事前参加登録が必要です！

下記URLまたは、QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/iUUnRz28uy8K3TNc7>

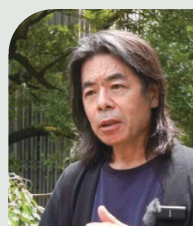
登録サイトへ



登録サイト



熊本大学黒髪南地区 熊本市中央区黒髪2-39-1
※公共交通機関をご利用ください。



Katsuhiko HIBINO

日比野克彦氏

東京藝術大学学長、岐阜県美術館長、熊本市現代美術館長

1958年岐阜県生まれ。東京藝術大学在学中より作家活動を開始し、大きな注目が集まる。その後、国内外で活動を展開。現在、東京藝術大学にて学長を務め、現代に於けるアートの更なる可能性を追求し、企業、自治体との連携なども積極的に行っている。



Ippei TANAKA

田中一平氏

東京藝術大学 共創拠点推進機構特任講師

1985年東京都生まれ。東京藝術大学美術研究科修了。2011年より同科教育研究助手・助教を経て、2018年より東京藝術大学Diversity on the Arts Projectを担当。2023年より現所属。金属などをを用いた作品制作を行っている。



Takumi MATSUNAGA

松永拓己

熊本大学教育学研究科教授、学長特別補佐(キャンパスミュージアム担当)

1966年長崎県生まれ。筑波大学芸術研究科修了。二紀会を中心に作家活動を行う。現在、熊本大学教育学研究科教授として、地域社会アート活動を行い、学長特別補佐として、熊本大学キャンパスミュージアムの可能性と社会貢献を追及している。



熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号 TEL: 096-342-2864 (社会共創推進課 TEL: 096-342-2047)

e-mail: museum@jimu.kumamoto-u.ac.jp <https://museum.kumamoto-u.ac.jp>



ホームページ